

安全データシート

かため太郎 (1/7)

整理番号 M4010

作成日 平成 22 年 5 月 12 日

改定日 平成 29 年 3 月 14 日

1. 製品及び会社情報

製品名 : かため太郎

会社名 : オバナヤ・セメンテックス株式会社
東京支店

住 所 : 東京都中央区日本橋小伝馬町 16-6

TEL 03-3663-7641 / FAX 03-3661-0496

2. 危険有害性の要約

GHS分類

1) 物理化学的危険性

可燃性/引火性エアゾール : 区分 1

引火性液体 : 区分 2

2) 健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 分類できない

急性毒性 (経皮) : 分類できない

急性毒性 (吸入・蒸気) : 区分 4

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 区分 1

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) : 区分 1

特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) : 区分 1

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

水性環境有害性 (急性) : 分類できない

水性環境有害性 (慢性) : 分類できない

オゾン層への有害性 : 分類できない

ラベル要素 : 絵表示又はシンボル



注意喚起語 :

危険

危険有害情報 :

極めて可燃性・引火性の高いエアゾール

引火性の高い液体及び蒸気

高圧容器 : 熱すると破裂のおそれ

吸入すると有害

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

注意書き

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

臓器(中枢神経系)の障害

臓器(腎臓)の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

長期又は反復ばく露による臓器(中枢神経系、末梢神経系)の障害

【安全対策】

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
容器を密閉しておくこと。

容器を接地すること／アースをとること。

加圧容器は、使用後穴を開けたり燃やしたりしないこと。

防爆型の電機機器／換気装置／照明機器等を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【救急処置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚等に付着した場合：多量の水で洗うこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合：汚染された衣類を直ちにすべて脱ぐこと。

皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：直ちに医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

特別な処置が必要である。(SDSを医師に見せ判断を得よ。)

皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断／手当を受けること。

汚染された衣類を脱ぐこと。そして再使用する場合には、洗濯をすること。

火災の場合：消火するためにABC消火器を使用すること。

【保管】

換気の良い涼しい場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。

【廃棄】

内容物や容器を、法令に従って適切に廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

成分及び含有量：

成分名	含有量	CAS No.	化審法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	15～25%	25068-38-6	7-1283
メチルエチルケトン	20～25%	78-93-3	2-542
酢酸エチル	2.5～7.5%	141-78-6	2-726
ジメチルエーテル	40～60%	115-10-6	2-360

4. 応急措置

- 眼に入った場合：直ちに大量の清浄な水で15分間以上目を洗浄した後、出来るだけ早く眼科医の診断／手当を受けること。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- 皮膚に付いた場合：汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。ガーゼ等の布でよく拭取り、大量の水及び中性石鹸を使ってよく洗い落とす。溶剤・シンナー等は使用しないこと。外観に変化が見られたり、痛み、かゆみ等がある場合は直ちに医師の診断／手当を受ける。
- 吸入した場合：風通しの良い空気が新鮮な場所へ移して呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が改善しない場合には、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合：直ちに水道水で口内をすすぎ、直ちに医師の診断／手当を受ける。意識が無い場合は口から何も与えてはいけない。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

- 消火剤：小火災・二酸化炭素、粉末消火剤、散水、乾燥砂などを用いる。
大火災・泡消火剤を用いて空気を遮断する。
- 使ってはならない消火剤：棒状注水
- 特有の危険有害性：火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガス及びヒュームを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法：消火剤のうち、散水以外の消火剤を利用すること。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- 消火を行う者の保護：消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学保護衣を着用する。

6. 漏洩時の措置

- 人体に対する注意事項：漏洩した場所の周辺には、ロープを張るなどして人の立入りを禁止し危険区域での火気使用を禁止する。風下の人を退避させる。
作業の際には、必ず保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項：漏出したものが、下水、河川に流出するのを防ぐ。
- 多量の漏出時：可能な限りせき止めし、ポンプ(防爆型)等で回収する。
又は砂、ウエス等に吸着させドラム等に回収する。
- 少量の漏出時：砂、ウエス等に吸着させ密閉容器に回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い上の注意 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 吸い込んだり眼、皮膚及び衣類に触れない様に適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。
 局所排気装置等を設置して換気を良くする。
 休憩所には洗顔、洗眼、手洗い等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等をよく洗う。労働安全衛生法、消防法等の関連法規に準拠して作業する。
 火気厳禁。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取り扱いをしてはならない。
 接触、吸入又は飲み込まないこと。
 眼に入れないこと。
 取扱い後は、よく手を洗うこと。
 この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。
 環境への放出をさけること。
 「8. 暴露防止装置」を確認のこと。
- 保管上の注意 : 直射日光を避け、容器を密栓して風通しの良い屋内に保管する。
 ボイラー等熱源付近や可燃物の近くに置かない。
- 混蝕禁止物質 : 「10. 安定性及び反応性」を参照のこと。
- 容器 : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
 ステンレス等の密閉容器を使用すること。

8. 暴露防止装置

- 管理濃度 : メチルエチルケトン 200ppm
 酢酸エチル 200ppm
- 許容濃度 : メチルエチルケトン
 日本産業衛生学会 (2015年版) 200ppm 720m g / m³
 A C G I H (2009年版) TLV-TWA 400ppm
 酢酸エチル
 日本産業衛生学会 (2015年版) 200ppm 590m g / m³
 A C G I H (2005年版) TLV-TWA 200ppm BEI
- 設備対策 : 局所排気装置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うこと。
 洗顔、洗眼、手洗い場等設置。
- 呼吸器の保護 : 防毒マスクを着用。
- 手の保護具 : ゴム手袋等の適切な保護手袋を着用。
- 眼の保護具 : 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡を着用。
- 皮膚及び身体の保護 : 不浸透性の保護衣、保護手袋、長靴、眼鏡及び前掛け等。

9. 物理及び化学的性質

- 物理的状態・形状・色など : 原液 淡黄色透明液状
 噴射剤 (DME) 無色透明液体
- 臭気 : 原液 芳香臭
 噴射剤 (DME) やや甘味臭
- p H : 原液 データなし
 噴射剤 (DME) データなし

融点・凝固点	: 原液	データなし
	噴射剤 (DME)	-141.5°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 原液	データなし
	噴射剤 (DME)	-24.82°C
引火点	: 原液	>-7°C
	噴射剤 (DME)	-41.1°C
爆発範囲	: 原液(メチルエチルケトン)	下限 1.8vol%、上限 11.5 vol%
	噴射剤 (DME)	下限 3.4 vol%、上限 27.0 vol%
蒸気圧	: 原液(メチルエチルケトン)	10.5 kPa (20°C)
	噴射剤 (DME)	3,800 mm Hg (20.8°C)
蒸気密度(空気=1)	: 原液	データなし
	噴射剤 (DME)	1.59
比重(密度)	: 原液	0.93 (25°C)
	噴射剤 (DME)	0.661 (25°C)

10. 危険性情報

安定性	: 通常条件下では安定。
反応性	: 酸、塩基と接触すると反応熱を伴って硬化する。 高温の表面、火花、裸火により発火。
避けるべき条件	: 高温の表面、火花、裸火、日光、スパーク、静電気、その他発火源
混触危険物質	: 強酸化剤、強ルイス酸、強無機酸、強無機塩基、有機塩基(特に 1,2 級の脂肪族アミン)
危険有害な分解生成物	: 燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性 経口	: 分類できない
急性毒性 経皮	: 分類できない
急性毒性 吸入(気体)	: 分類対象外
急性毒性 吸入(蒸気)	: 区分 4 混合物計算推測値 (LC ₅₀) 11,700ppm 吸入すると有害な物質を含む
急性毒性 吸入 (粉じん・ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性・刺激性	: 区分 1 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある物質を含む
眼に対する重篤な 損傷性/眼刺激性	: 区分 1 重篤な眼の損傷がある物質を含む
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分 1 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある物質を含む
生殖細胞変異原生	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
授乳に対する又は 授乳を介した影響	: 分類できない

特定標的臓器・全身毒性

(単回暴露) : 区分1 区分2 区分3

臓器 (中枢神経系) の障害がある物質を含む

臓器 (腎臓) の障害のおそれがある物質を含む

呼吸器への刺激のおそれがある物質を含む

特定標的臓器・全身毒性

(反復暴露) : 区分1

長期ないし反復暴露による臓器 (中枢神経系、末梢神経系) の障害がある物質をふくむ。

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

- 生態毒性 : メチルエチルケトン 魚類ヒメダカ LC₅₀ >100mg/L/96H
酢酸エチル 甲殻類ミジンコ EC₅₀ >164mg/L/48H
- 残留性・分解性 : ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂は急速分解性がない
(BODによる分解度:0%)
メチルエチルケトン 難水溶性ではない 水溶解度=2.23×10⁵mg/L
- 生体蓄積性 : ビスフェノールA型固形エポキシ樹脂;ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂より生体蓄積性が低いもの(BC≤42)
- 土壤中の移動性 : データなし
- 水生環境有害性(急性) : 分類できない
- 水生環境有害性(慢性) : 分類できない
- オゾン層への有害性 : 分類できない
- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 処理に関しては、十分な知識を有する専門家の指示に従う。
残余物の処理は、都道府県知事の許可を受けた信頼のできる廃棄物処理業者に、廃棄物の危険・有害性を充分告知の上、その処理を委託する。
- 汚染容器・包装物 : 空容器は残油または気化した蒸気の引火、爆発の危険があるので、密栓し、指定場所に保管する。残油の回収、蒸気開放等未処理の空容器の切断、溶接等の加工はしない。廃棄する場合は内容物を完全に除去した後処分する。

14. 輸送上の注意

- 注意事項 : 輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないことを確認する。
転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行い、該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
- 国連分類 : クラス 2.1 (引火性高圧ガス)
- 国連番号 : 1950
- 緊急時応急措置指針番号 : 126
- 陸上輸送 : 消防法、労働安全法に定められる運送方法に従うこと。
- 海上輸送 : 船舶安全法に定められるところに従うこと。
- 航空輸送 : 航空法に定められるところに従うこと。

15. 適用法令

高圧ガス保安法	: 適用除外
消防法	: 危険物第 4 類第 1 石油類 危険等級 II
労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表題 9) 570 メチルエチルケトン 177 酢酸エチル 名称等を表示すべき有害物 (法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条) 570 メチルエチルケトン 177 酢酸エチル 第 2 種有機溶剤等 (施行令別表第 6 の 2、有機溶剤中毒予防規則第 1 条第 1 項第 4 号) 44 メチルエチルケトン 18 酢酸エチル 危険物・引火性の物 (施行令別表第 1 第 4 号) 労働災害認定物質 ビスフェノール A 型固形エポキシ樹脂
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	: 非該当
毒劇及び劇物取締法	: 非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: (産業廃棄物) (ビスフェノール A 型固形エポキシ樹脂)
大気汚染防止法	: 燃焼時 有害物質 (ビスフェノール A 型固形エポキシ樹脂)
船舶安全法	: エアゾール (引火性高圧ガス。容積が 1 L 以下で再充填ができないもの)
航空法	: エアゾール (引火性のもの。毒物、腐食性物質又は毒ガスを含まないもの。)

16. その他情報

参考文献

- ・石油化学メーカー「安全データシート」
- ・化学工業日報社「14504 の化学商品」
- ・化学工業日報社「化学物質管理促進法対象物質全データ」
- ・化学工業日報社「労働安全衛生法対象物質全データ」
- ・3 省告示 (厚生労働省、経済産業省、環境省 GHS 関係省庁連絡会議 : NITE HP)
- ・安全衛生情報センター
- ・製品評価技術基盤機構

本製品をご使用の際は必ず下記文献をお読み下さい。

「エポキシ樹脂及び硬化剤のただししい取り扱いの手引き」エポキシ樹脂技術協会編

安全データシートは、危険有害な化学製品について安全な取り扱いを確保する為の参考資料として、取り扱い事業者提供されるものです。

取り扱う事業者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講じる必要があることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。